

「アートと文化が誰にも近い街」を目指し、「アートと生活」をテーマとして、芸術や文化に親しんで頂くきっかけを提供する芸術文化講座。各分野の専門家が、アートがはじめての方々にやさしく語りかけます。2022年4月(第28回)は「ソムリエと司書と“読む”ワインー20世紀フランスの挿絵本を通してー」です。ワインソムリエの涌井稔さんとアーティゾン美術館司書の黒澤美子さんをお迎えし、それぞれの視点からの解説と楽しい対談をして頂きます。

< 2022年4月(第28回) >

ソムリエと司書と“読む”ワイン ー 20世紀フランスの挿絵本を通してー

石橋財団アーティゾン美術館には、20世紀のフランスで出版された、ワインをテーマとした美しい挿絵本が複数所蔵されています。ワインの産地や嗜み方にまつわる教養を深めてくれるものから、ワインを「私のお医者様」と崇めその健康効果を謳う驚きの1冊まで、内容はさまざま。それらはラウル・デュフィなどフランスの芸術家たちの手により優美な挿絵で彩られました。食と芸術文化が結びついたユニークな書籍を、美術本としての視点で司書が、ワイン文化の視点からソムリエが、読み解いていきます。と一緒に、ワインを絵と言葉で味わってみませんか。

日 時： 2022年4月20日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料： 無料

申込方法： Peatix (<https://peatix.com/event/3190353>)

右上の**リンクボタン**(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講師 >



涌井 稔氏 (ワインソムリエ)

(写真©池田卓夫)

1947年神戸市生まれ。神戸のホテルでギャルソンとして就労時にワインに興味を持ち、のめり込み勉強を開始。1974年帝国ホテルにソムリエとして入社。日本のフレンチの草分け的レストラン「フォンテンブロー」や「レセゾン」にて40年間ソムリエ筋に勤務し、同社ソムリエ支配人やエグゼクティブ・シェフ・ソムリエを歴任。2014年67歳で帝国ホテル退社、同年(株)ル プルターニュにシェフソムリエとして入社。現在、ワインだけでなくプルターニュの特産品であるシードル(リンゴの発泡酒)の普及にも努めている。



黒澤美子氏 (国立西洋美術館 主任研究員)

専門は美術館情報資料論。2015年よりプリチストン美術館(現アーティゾン美術館)司書。同館の研究施設にあたる石橋財団アトリサーチセンターのライブラリー開室準備(2017年開室)や貴重書コレクション収集に従事。企画担当した図書展示に、「パウル・クレーと書物」(2020年)、「アルベール・グレーズー理論書から挿絵本まで」(2021年)、「挿絵本にみる20世紀フランスとワイン」(2021年)ほか。2022年4月より国立西洋美術館主任研究員。学芸課情報資料室長として図書室(研究資料センター)の運営等を担当する。